

環境活動レポート



株式会社 エコサーブ

活動期間：令和4年4月～令和5年3月

令和5年6月 1日 作成

〔目次〕

- 〔1〕 環境方針.....P1
- 〔2〕 会社概要.....P2・3
- 〔3〕 会社組織図.....P4
- 〔4〕 許認可一覧.....P5～8
- 〔5〕 産業廃棄物収集運搬費単価.....P9
- 〔6〕 産業廃棄物収集運搬登録車両.....P9
- 〔7〕 積替え保管許可内容.....P9
- 〔8〕 環境管理組織図.....P10
- 〔9〕 環境項目実績表及び目標基準値.....P11～13
- 〔10〕 環境目標・取組事項.....P14
- 〔11〕 2023年度環境目標・活動計画.....P15
- 〔12〕 2022年度 環境目標数値と活動結果報告.....P16～18
- 〔13〕 削減への取組.....P19～21
- 〔14〕 環境関連法規への違反、訴訟等の有無.....P22
- 〔15〕 代表者による全体評価と見直し結果.....P23

環 境 方 針

株式会社エコサーブは事業活動を行っていきなかで、下記のように環境負荷低減と汚染予防活動に取り組みます。

【 基本方針 】

当社が行う事業活動が環境と社会に与える影響を把握し、環境負荷の改善及び低減を目指し、循環型社会への構築と地域社会への貢献を図り、環境保全に努めます。

【 行動指針 】

- ・ 各種省エネ活動によるCO2排出量の削減及び環境負荷の低減
- ・ 環境関連の法規則等の遵守
- ・ 廃棄物の分別によるリサイクル率向上化
- ・ 顧客への収集運搬受託廃棄物のリサイクル処理への提案及びリサイクル率の向上
- ・ 車両等新規購入の際に車両の仕様において排気ガス抑制基準及び低燃費性の重視
- ・ 地域社会への貢献活動
- ・ 社員の環境問題への意識の向上
- ・ エコマーク商品の積極的購入・使用

制定:2009年12月15日

改訂:2012年10月 1日

改訂:2016年 6月10日

改訂:2022年 4月 1日

株式会社 エコサーブ

代表取締役 齋藤 信

[2]【 会 社 概 要 】

(1) 商号及び代表者名

株式会社 エコサーブ
代表取締役 齋藤 信

(2) 所在地

本 社) 〒989-6161 宮城県大崎市古川駅南3丁目17-2
営 業 本 部) 〒981-4264 宮城県加美郡加美町字赤塚471-1
仙 台 支 店) 〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字堀切1-14
エコリフォームプラザ(泉) 〒981-3120 仙台市泉区向陽台2丁目2-20
トラックステーション) 〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四釜字大原242-1
加美サービスステーション) 〒981-4264 宮城県加美郡加美町字赤塚1番地1

(3) 連絡先

TEL 0229-22-6800 (環境管理者名 : 津嶋康宏)
FAX 0229-22-6850
URL www.eco-sereve.biz

(4) 法人設立

昭和62年 1月 (創業 昭和37年12月)

(5) 資本金

3,500万円

(6) 年間売上高

約148,870万円 (令和4年度)

(7) 廃棄物収集運搬実績(令和4年度)

種 別	重量(t)	
産業廃棄物	11,803.8	年間廃棄物種類別集計
特別管理型産業廃棄物	22.2	
一般廃棄物(事業系含む) 可燃物	389.3	
一般廃棄物(事業系含む) 不燃物	9.1	

(8) 事業内容

【 ビル総合管理事業 】

ビル清掃、建築物施設運転及び管理、飲料水貯水槽清掃及び管理、飲料水水質検査、煤煙・粉塵・騒音測定、施設警備業務、害虫駆除管理、毒物・劇物一般販売、その他各種清掃 他

【 環境保全事業 】

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬、事業系一般廃棄物収集運搬、廃水処理施設運転管理、下水道及び排水管渠調査・高圧洗浄、水路・管路・河川の浚渫、側溝清掃 他

【 設備工事事業 】

一般建設業(管・水道施設)、給・排水設備工事、浄化槽設備工事、住宅設備工事、電気設備工事、空調・衛生設備工事、貯水槽施設設置修繕工事、水処理設備工事(濾過装置)、除雪業務、浄化槽保守点検等各種保守管理業務 他

【 リフォームリニューアル事業 】

一級建築士設計業務、増改築工事、外構工事、ソーラー発電システム販売、オール電化工事、アパート・マンション・リニューアル工事、店舗・テナント・リニューアル工事、耐震補強工事、防犯・防災工事 他

【 ガソリンスタンド事業 】

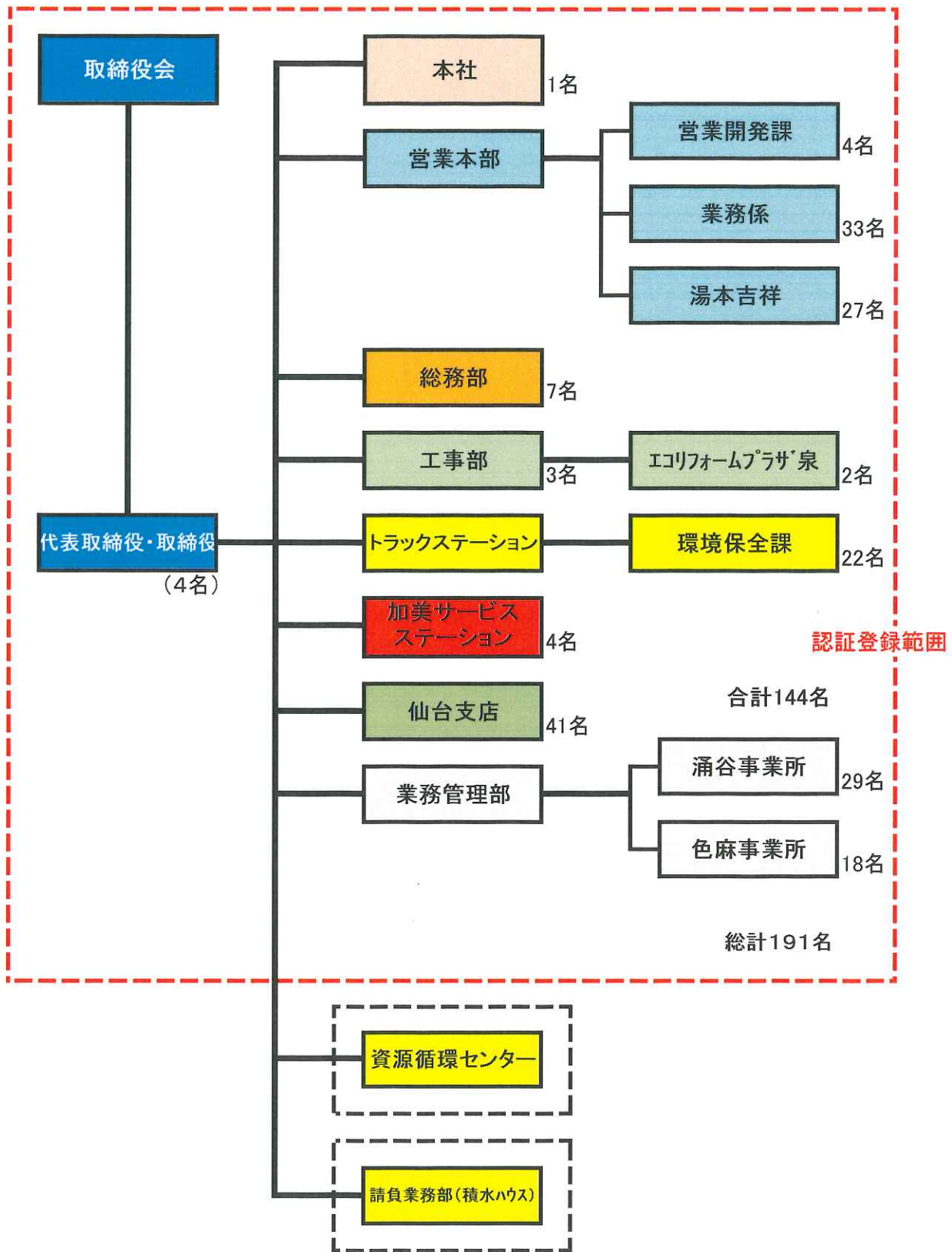
石油製品、タイヤ、ホイール、アクセサリ等販売・洗車・車検・自動車保険

(9) 認証登録範囲

環境保全事業・設備工事事業・ビル総合管理事業・ガソリンスタンド事業
リフォームリニューアル事業

(10) 従業員数:191名

[3]【会社組織図】



※資源循環センター、請負業務部は請負先建物に常駐しており、顧客のEMSへの取り組みに従うことから認証の範囲より除いております。

[4]【 許認可一覧 】

◎ 産業廃棄物収集運搬業許可一覧

令和5年6月1日

都道府県・市区名	許可番号		備考
宮城県	0415001929	許可年月日 令和3年3月10日	積替え保管(保管面積:69.55㎡)
		有効年月日 令和10年3月9日	保管上限:汚泥10㎡・8㎡、廃プラスチック類27㎡、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず8㎡、木くず12㎡ 保管高さ:汚泥2.5m・1.4m、廃プラスチック類3.3m、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず1.4m、木くず2.2m
	事業範囲	積替え又は保管行為を除く)燃え殻、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、鋳さい、がれき類、家畜ふん尿、ばいじん 以上12種類 積替え又は保管行為を含む)汚泥、廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、木くず 以上4種類	
宮城県	0455001929	許可年月日 平成30年3月5日	特別管理
		有効年月日 令和7年3月4日	
	事業範囲	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃PCB等、PCB汚染物、廃石綿等、燃え殻、汚泥 以上9種類	
青森県	00201001929	許可年月日 令和4年5月23日	
		有効年月日 令和11年5月16日	
	事業範囲	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上10種類	
岩手県	0300001929	許可年月日 平成30年9月28日	
		有効年月日 令和7年9月27日	
	事業範囲	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上12種類	
秋田県	00504001929	許可年月日 平成28年7月4日	
		有効年月日 令和12年7月3日	
	事業範囲	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん 以上14種類	
秋田県	00554001929	許可年月日 平成28年7月4日	特別管理
		有効年月日 令和12年7月3日	
	事業範囲	廃油、廃酸、廃アルカリ 以上3種類	

都道府県・市区名	許可番号		備考
山形県	0609001929	許可年月日 平成28年7月4日 有効年月日 令和12年7月3日	
	事業範囲	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん 以上14種類	
山形県	0659001929	許可年月日 平成28年6月30日 有効年月日 令和12年6月29日	特別管理
	事業範囲	廃油、廃酸、廃アルカリ 以上3種類	
福島県	00707001929	許可年月日 令和5年6月15日 有効年月日 令和12年5月22日	
	事業範囲	汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上11種類	
東京都	13-00-001929	許可年月日 平成29年1月28日 有効年月日 令和6年1月27日	
	事業範囲	燃え殻、汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、ばいじん 以上11種類	
東京都	13-50-001929	許可年月日 令和2年12月19日 有効年月日 令和9年12月18日	特別管理
	事業範囲	廃油、廃アルカリ 以上2種類	
埼玉県	01101001929	許可年月日 平成30年10月18日 有効年月日 令和7年10月17日	
	事業範囲	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん 以上13種類	
群馬県	01000001929	許可年月日 平成31年1月29日 有効年月日 令和8年1月28日	
	事業範囲	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、ばいじん 以上11種類	

都道府県・市区名	許可番号		備考
茨城県	00801001929	許可年月日 令和2年5月15日	
		有効年月日 令和9年2月13日	
	事業範囲	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上11種類	
栃木県	0900001929	許可年月日 平成29年7月24日	
		有効年月日 令和6年7月23日	
	事業範囲	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上11種類	

◎ 事業系一般廃棄物処理業務(収集運搬業)

令和5年6月1日

大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町	第23-06号	令和7年3月31日まで
大衡村	第1935号	令和6年3月31日
栗原市	栗原市(環)指令第3822号	令和7年3月31日まで

◎ 排水設備等公認業者

仙台市	第454号	令和10年3月31日まで
大崎市	第64号	令和10年3月31日まで
加美町	第6号	令和6年3月31日まで
色麻町	第15号	令和10年3月31日まで
富谷町	第126号	令和6年3月31日まで
美里町	第28号	令和10年3月31日まで

◎ 水道事業指定給水装置工事事業者

仙台市	第263号	
大崎市	第162号	
加美町	第72号	
色麻町	第10号	
富谷町	第131号	
大和町	第102号	
美里町	第14号	
涌谷町	第64号	

◎ 他 所持許認可

一般建設業	宮城県知事 許可(般-4)第16557号	令和9年5月9日まで
一級建築士事務所	宮城県知事登録 第14710064号	令和6年7月2日まで
建築物清掃業登録	宮城県16清第3号	令和10年12月26日まで
建築物飲料水貯水槽清掃業登録	宮城県2貯第3号	令和11年9月2日まで
医療関連サービスマーク	G(8)-2202041222	令和7年1月31日まで
警備業	宮城県公安委員会 第22000072号	令和5年12月13日まで
毒物劇物一般販売業登録	大崎第Q00175号	令和11年2月27日まで
浄化槽清掃業許可(大崎市:古川・三本木)	第22-56号	令和6年3月31日
浄化槽保守点検業者登録(大崎市・加美町・色麻町・大衡村)	宮14保守第197号	令和6年2月20日まで

[5]【産業廃棄物収集運搬費単価(参考)】

	車種	収集運搬費 (1台当. 仕立て便. ワンマン)			廃棄物の種類	備考
		30km未満	30～60km 未満	60km以上		
1	8m ³ 脱着式 コンテナ専用車	20,000円～	23,000円～	26,000円～	廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類、脱水汚泥、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、廃油等	コンテナ 設置別途
2	25m ³ 脱着式 コンテナ専用車	32,000円～	38,000円～	44,000円～		コンテナ 設置別途
3	4tユニック車	23,000円～	26,000円～	29,000円～		
4	10tダンプ車	30,000円～	36,000円～	42,000円～		
5	2tプレスパック車	18,000円～	21,000円～	24,000円～	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず等	
6	4tプレスパック車	22,000円～	25,000円～	28,000円～		
7	8m ³ 天蓋付 完全密封車	28,000円～	32,000円～	36,000円～	有機性汚泥等	コンテナ 設置別途
8	3tバキューム車	20,000円～	23,000円～	26,000円～	高含水率汚泥	作業費別途
9	4t吸引車	35,000円～	39,000円～	43,000円～	高含水率汚泥	作業費別途
10	10t強力吸引車	40,000円～	56,000円～	64,000円～	高含水率汚泥	作業費別途

※上記金額には消費税が含まれておりません。

※上記単価は参考金額であり、実際は廃棄物の性状及び作業性、交通事情等の条件により変動いたします。

[6]【 産業廃棄物収集運搬登録車両 】

10t 強力吸引車	3台
4t 強力吸引車	1台
3tバキューム車	1台
4tユニック車	1台
7m ³ 脱着装置付 コンテナ専用車	6台
10m ³ 脱着装置付 コンテナ専用車	3台
4tプレスパック車	5台
4tコンテナ車	1台
3tプレスパック車	1台
2tダンプ車	1台
キャブオーバ(軽)	1台

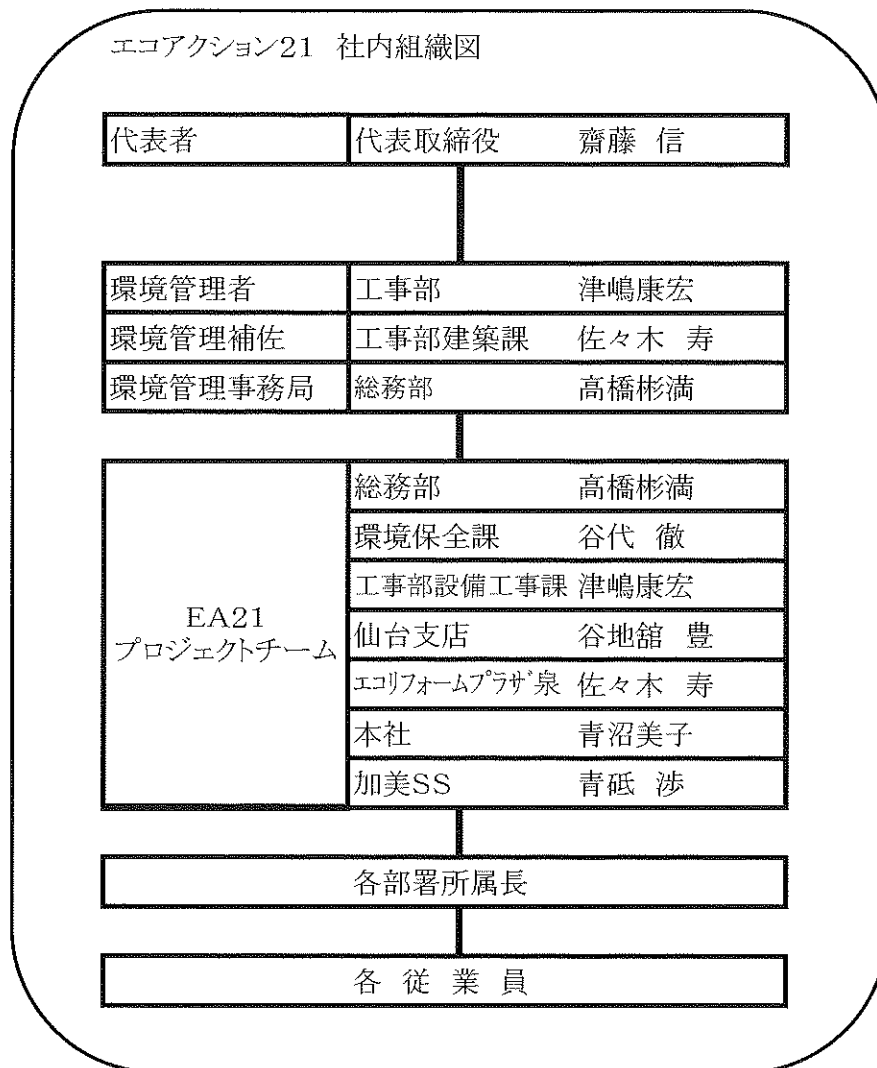
[7]【 積替え保管許可内容 】

所在地:宮城県加美郡加美町赤塚471番地1

面積:1919.80平方メートル、うち保管面積69.5
5平方メートル

産業廃棄物の種類	保管上限(m ³)	保管の高さ(m)
汚泥(タンク積)	10.0	2.5
汚泥(コンテナ積)	8.0	1.4
廃プラスチック類	27.0	3.3
木くず	12.0	2.2
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	8.0	1.4

[8]【 環境管理組織図 】



役割	責任・権限
代表者	環境方針の制定・見直し、EA21責任者の任命、EA21責任者からの報告を受け全体の見直し・指示を行う、環境への取組に関わる必要資源の準備。(代表者として必要経費の承認)経営上の課題とチャンスを整理し活動に反映する。
環境管理者	環境管理の全事項、代表者に代わりシステムを構築・運用する、環境目標・取組計画を作成し代表者の承認を受け、EA21プロジェクトチーム・各部署所属長に実施を指示する、環境担当者・事務局の任命、環境会議の開催、代表者への報告
環境管理補佐	環境管理者の指示のもと活動を補佐する。
環境管理事務局	環境管理者の指示のもと活動書類のとりまとめ、活動の実施案内、
EA21プロジェクトチーム	環境管理事項の検討・提案、部署内報告・提案のまとめ、環境会議への出席、是正対策の検討・提案
各部署所属長	各部門・現場への指示・伝達
各従業員	環境目標の実施・報告

[9]【2022年度～2025年度環境項目実績表及び目標基準値】

種 別		2019年度実績ベース	2022年度 目標 (2022年4月～2023年3月)	2023年度 目標 (2023年4月～2024年3月)	2024年度 目標 (2024年4月～2025年3月)
二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2)	本社・本部・トラックS	585,309.70	569,582.49 3%減	563,886.67 4%減	558,190.84 5%減
	加美SS	23,399.36	22,852.67 3%減	22,624.14 4%減	22,395.61 5%減
	仙台	42,372.20	40,838.88 4%減	40,430.50 5%減	40,022.11 6%減
	泉	7,429.90	9,192.94 6%減	9,101.01 7%減	9,009.08 8%減
	会社全体	658,511.16	642,466.98	636,042.31	629,617.65
電力使用量 (単位:kWh)	本社・本部・トラックS	33,753.00	32,899.92 8%減	32,570.92 9%減	32,241.92 10%減
	加美SS	22,444.00	21,563.93 2%減	21,348.29 3%減	21,132.65 4%減
	仙台	9,009.00	8,935.58 7%減	8,846.23 8%減	8,756.87 9%減
	泉	6,083.00	7,186.80 7%減	7,114.93 8%減	7,043.06 9%減
	会社全体	71,289.00	70,586.23	69,880.36	69,174.50
ガソリン使用量 (単位:l)	本社・本部・トラックS	26,233.13	25,347.98 6%減	25,094.50 7%減	24,841.02 8%減
	加美SS	1,136.52	1,249.66 2%減	1,237.16 3%減	1,224.66 4%減
	仙台	12,213.86	9,730.47 6%減	9,633.16 7%減	9,535.86 8%減
	泉	1,535.07	1,701.75 7%減	1,684.73 8%減	1,667.71 9%減
	会社全体	41,118.58	38,029.85	37,649.56	37,269.26
軽油使用量 (単位:l) ※目標設定値 5.21l/万円にて算出	本社・本部	10,002.98	9,608.80 6%減	9,512.72 7%減	9,416.63 8%減
	トラックS	181,912.92	195,033.31 3%減	193,082.90 4%減	191,132.60 5%減
	加美SS	2,114.00	2,033.16 3%減	2,012.83 4%減	1,992.50 5%減
	仙台	2,949.94	4,222.49 6%減	4,180.27 7%減	4,138.04 8%減
	泉	使用実績無し	使用実績無し	使用実績無し	使用実績無し
	会社全体	196,979.84	210,897.77	208,788.71	206,679.77

※軽油使用量目標基準値算出根拠

トラックステーション軽油使用量は、売上に比例し大きく変動することから、年間売上実績を基に1万円当たりの軽油使用量を算出し、使用量実績に換算した数値を目標設定値としております。(年度売上実績が確定した段階で目標基準値に反映)

年間売上374,344,169円 年間軽油使用量191,290.95l ≒5.21l/万円

種 別		2019年度実績ベース	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
			(2022年4月～2023年3月)	(2023年4月～2024年3月)	(2024年4月～2025年3月)
灯油使用量 (単位:ℓ)	本社・本部・ トラックS	965.0	804.1 2%減	796.1 3%減	788.0 4%減
	加美SS	890.0	863.7 2%減	855.1 3%減	846.4 4%減
	仙台	416.0	387.7 7%減	383.8 8%減	379.9 9%減
	泉	138.0	330.4 7%減	327.1 8%減	323.8 9%減
	会社全体	2,409.0	2,385.9	2,362.0	2,338.2
LPG使用量 (単位:m ³)	本社・本部・ トラックS	51.1	49.59 7%減	49.09 8%減	48.6 9%減
	加美SS	使用実績無し	使用実績無し	使用実績無し	使用実績無し
	仙台	7.9	39.73 7%減	39.3 8%減	38.9 9%減
	泉	使用実績無し	使用実績無し	使用実績無し	使用実績無し
	会社全体	59.0	89.32	88.43	87.53
一般廃棄物排出量 (単位:kg)	本社・本部・ トラックS	661.0	641.4 2%減	635.0 3%減	628.6 4%減
	加美SS	720.2	698.9 2%減	691.9 3%減	684.9 4%減
	仙台	759.7	182.6 7%減	180.8 8%減	178.9 9%減
	泉	75.2	103.0 7%減	102.0 8%減	100.9 9%減
	会社全体	2,216.1	1,625.9	1,609.6	1,593.4
用水使用量 (単位:m ³)	本社・本部・ トラックS	582.0	564.8 7%減	559.2 8%減	553.5 9%減
	加美SS	708.0	687.0 2%減	680.1 3%減	673.3 4%減
	仙台	173.0	99.4 7%減	98.4 8%減	97.4 9%減
	泉	13.5	28.8 7%減	28.5 8%減	28.2 9%減
	会社全体	1,476.5	1,380.0	1,366.2	1,352.4
産業廃棄物リサイクル率の向上 (単位:%)	会社全体	41.0%	49.0% 8%増	50.0% 9%増	51.0% 10%増

化学物質使用量の削減 (適正管理)	会社全体	事故・法令違反の無いよう、適正管理する。 (対象がスタンドにおけるガソリン・灯油の為)			
省エネ商材の提案・設置	会社全体	-	10件以上	10件以上	10件以上

※上記目標値の購入電力の排出係数は、温対法に基づき算出された東北電力公表2021年度「調整後排出係数0.457」を使用しております。

【10】【 環境目標・計画事項 】

1) 省エネ活動によるCO2排出量の削減
①不要照明の消灯(不在席コーナーの消灯) ②運転中止時の電源オフ(作業場機器、TV、ラジオ等) ③エアコン温度調節 [夏期:28℃、冬期:24℃]
2) 環境関連の法規則等の遵守
①車両の点検整備の徹底 ②車両の走行距離の低減 ③エコドライブの徹底 ④制限速度厳守 ⑤関連法規最新版の確認
3) 廃棄物の分別によるリサイクル率向上化
①廃棄物分別の徹底 ②廃棄量の把握(排出日及び数量の記入) ③コピー用紙の裏紙使用の徹底 (裏紙保管時の注意事項表示)
4) 顧客への収集運搬受託廃棄物のリサイクル処理への提案及びリサイクル率の向上
①廃棄物の適正な分別処理と管理 ②配備車両への「エコアクション21ロゴマーク」の表示 ※2020年1月使用規制一部追訂 ③受付・応接室・会議室への活動表示及び環境活動レポートの備付け ④営業社員による環境配慮に関わる情報発信
5) 車両等新規購入の際に車両の仕様において排気ガス抑制基準及び低燃費性の重視
①低燃費車両の導入 ②アドブルーマフラー搭載装備車両の導入
6) 地域社会への貢献活動
①環境美化活動の協力 ②各種地域活動への参加
7) 社員の環境問題への意識の向上
①各部署幹部参加型の環境活動の打合せを開催し、その内容を各所属員へ説明し周知する。 ②全従業員へ「環境カード」を配付・携帯 ③職場改善事例の社内紹介と展開
8) エコマーク商品の積極的購入・使用
①備品等購入時のエコマーク製品の選択 ②「エコめがね」(太陽光発電遠隔監視)の利用
9) 節水活動の推進
①散水時の節水 ②手洗い時の節水 ③漏水有無の点検

※EA21委員会より各事業所内周知展開。経費発生の場合は、経費申請の社内手続きをとる。
活動対象事業所の環境管理委員が主体となり、記録等管理する。日常的な活動以外の実施

〔11〕【 2023年度環境目標・活動計画 】

1. トラックステーション

- ①敷地内植栽の延長
- ②低燃費車両の導入

2. 本社

- ①建物回り植栽の春秋定期管理

3. 営業本部

- ①建物回りの植栽管理
- ②表示物の更新(廃棄物分別表示、表示物の清掃)
- ③低燃費車両の導入
- ④社内職場改善提案書の周知・展開
(特に環境配慮の意識向上やエネルギー消費の削減につながる提案を社内共通の展開策とする)

4. 加美SS

- ①消耗・劣化備品の確認
・洗車機の点検

5. 仙台支店

- ①事務所内冷暖房の効率化
・吹き抜け個所のカバー取付け

6. エコリフォーム泉

- ①エコ商品の積極的な提案

〔12〕【 2022年度 環境目標数値と活動結果報告 】

※ 2022年度 12ヶ月の合計数値
(2022年4月～2023年3月)

種 別		対目標 削減率	2022年度 目標	2022年度 結果	達成評価 ○ or ×
二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2)	本社・本部・ トラックS	2.9%減	569,582.49	552,532.16	○
	加美SS	18%減	22,852.67	18,716.68	○
	仙台	24%減	40,838.88	30,884.4	○
	泉	27%減	9,192.94	6,706.55	○
	会社全体	5.2%減	642,466.98	608,839.74	○
電力使用量 (単位:kWh)	本社・本部・ トラックS	2.3%増	32,899.92	33,680.00	△
	加美SS	4.3%増	21,563.93	22,498.00	×
	仙台	12%減	8,935.583	7,822.00	○
	泉	18%減	7,186.80	5,859.00	○
	会社全体	1%減	70,586.23	69,859.00	○
ガソリン使用量 (単位:l)	本社・本部・ トラックS	34%減	25,347.98	16,615.43	○
	加美SS	48%減	1,249.66	645.76	○
	仙台	7%増	9,730.47	10,436.40	×
	泉	5.5%減	1,701.75	1,606.59	○
	会社全体	23%減	38,029.85	29,304.18	○
軽油使用量 (単位:l)	本社・本部・ トラックS	7.9%減	204,642.12	188,400.23	○
	加美SS	11.5%減	2,033.16	1,797.80	○
	仙台	74%減	4,222.49	1,092.92	○
	泉		-	-	-
	会社全体	9.2%減	210,897.77	191,290.95	○

※上記目標値の購入電力の排出係数は、温対法に基づき算出された東北電力公表2021年度
「調整後排出係数0.457」を使用しております。

種 別		対目標 削減率	2022年度 目標	2022年度結果	達成評価 ○ or ×
灯油使用量 (単位:ℓ)	本社・本部・ トラックS	66%増	804.2	1,333.0	×
	加美SS	3%増	863.7	890.0	×
	仙台	81%減	387.7	72.0	○
	泉	63.6%減	330.42	120.0	○
	会社全体	1.2%増	2,385.9	2,415.0	○
LPG使用量 (単位:m³)	本社・本部・ トラックS	262%増	49.59	179.60	×
	加美SS		-	-	-
	仙台	87%減	39.73	5.20	○
	泉		-	-	-
	会社全体	6%増	89.32	184.80	×
一般廃棄物排出量 (単位:kg)	本社・本部・ トラックS	19%減	641.4	516.7	○
	加美SS	11%減	698.9	619.9	○
	仙台	4%増	182.6	189.4	×
	泉	44%減	103.0	57.6	○
	会社全体	15%減	1,625.9	1,383.6	○
用水使用量 (単位:m³)	本社・本部・ トラックS	4%減	564.8	540.0	○
	加美SS	13.5%減	687.0	594.0	○
	仙台	93%増	99.4	192.0	×
	泉	60%減	28.8	11.5	○
	会社全体	3%減	1380.0	1,337.5	○
産業廃棄物リサイクル率の向上 (単位:%)	会社全体	3.2減	47.0%	43.8%	○
化学物質使用量の削減 (適正管理)	会社全体	事故・法令違反の無いよう、適正管理する。 (対象がスタンドにおけるガソリン・灯油の為)			○
省エネ商材の提案・設置 (太陽光発電設置件数)	会社全体	-	10件	2件	×

取組への評価・次年度への取り組み

全事業所合計の二酸化炭素排出量が、1月～3月の冬季間については3ヶ月合計で目標比3,167.4kg-CO₂オーバー(比率98.0%)でありましたが、寒気対策に伴う電力使用量と灯油使用量の増加分を他の使用量抑制でカバーするため車両の不必要な暖気運転の抑制とより徹底したエコ運転を提唱し、全事業所共通で取り組んだことは、燃料使用量の削減と環境配慮に対する従業員の意識向上にもつながったものと思います。

年度活動計画も計画通りに進められておりました。また、社内活動の職場改善提案書にも環境配慮につながる好事例が見られ、社内共通の展開として周知案内を図りました。

次年度も活動計画を進めながら職場改善提案書の事例を活用し、環境配慮に対する意識向上と燃料削減策を模索していきます。

[13]【 削減への取組 】

1) 省エネ活動によるCO2排出量の削減

- ・不要照明の消灯について、事務所内不在部署スペースの消灯を含め、積極的に展開しました。
- ・冬期間のエアコン稼働が増えましたが、室内外の温度差をチェックし、小まめに温度調節を行い負荷を抑えることに努めました。
- ・車両運転開始時等に暖気運転時間短縮を図るため、全社内へ周知展開を行いました。

2) 環境関連の法規則等の遵守

- ・関係機関等からの通知やメール情報等を注視し、現行「関連法規制等一覧表」に変更点がないか継続的に管理しました。

(大気汚染防止法の適用に関し、建屋の解体の他に改造・補修時の文言を追加)

3) 廃棄物の分別によるリサイクル率向上化

- ・廃棄物の分別を徹底するとともに、ペットボトルを圧縮してから、ごみ袋に詰めることを実践し、ごみ袋消費の削減につなげました。(下記③にて事例紹介)

4) 顧客への収集運搬受託廃棄物のリサイクル処理への提案及びリサイクル率の向上

- ・営業社員を中心に営業先での環境配慮に関わる情報発信を行いました。(名刺にEA21ロゴ印刷)

5) 車両等新規購入の際に車両の仕様において排気ガス抑制基準及び低燃費性の重視

- ・工事部使用車両について、ハイブリッド車を新規導入。

上記、継続的な取組みの他に取組んだ環境配慮事項

- ①社有車の洗車をバケツでの水洗いから水道ホースに洗車用アタッチメントを取付けて洗車することで、節水策を図る。



②社会保険料を銀行の窓口納付からWebサービスに切り替えることで、車両の燃料削減につながりました。

所属 総務 氏名 伊藤

改善後(写真orポンチ絵)

諸納付受付	
セブン銀行 セブンメイトWebサービス 取引状況照会<諸納付受付>	
受付番号000100003-20220330-00009650で払込みを受けました。収納	
振替状況	
取引形態	実付済み
振付日	2022年03月30日
振込口座	
支店口座	吉川支店 (003) 普通 5456157
振込先情報	
会社名称	02502
振込先	-
納付番号	32204910001402
お名前	37548 伊藤 三ツ子
振込金種別情報	
振込内容	社会保険料等 (国庫金)
振込金額	

③空のペットボトルを回ます器具を用意し、空容器を処理してから処分したことで、ごみ袋の使用枚数を減らすことができました。



※1枚のごみ袋に
従来の4倍収納

④倉庫窓ガラスにスモークシールを貼り、保管している消耗資材を陽射しからの劣化防止を図りました。(仙台支店)
※他の事業所でも同様の保管環境がある場合の参考とし、横展を図る。



⑤エコマーク商品の積極的購入・使用
・総務部女子社員の制服更新
ハイブリッド触媒加工商品
抗菌、帯電防止、繊維長持ち



⑥社員への環境問題への意識の向上策

幹部会議にて環境配慮及び燃料削減につながる職場改善提案事例の紹介を行い、社内周知と展開を図りました。
※PC社内ネットワークで閲覧可能。

6) 地域社会への貢献活動

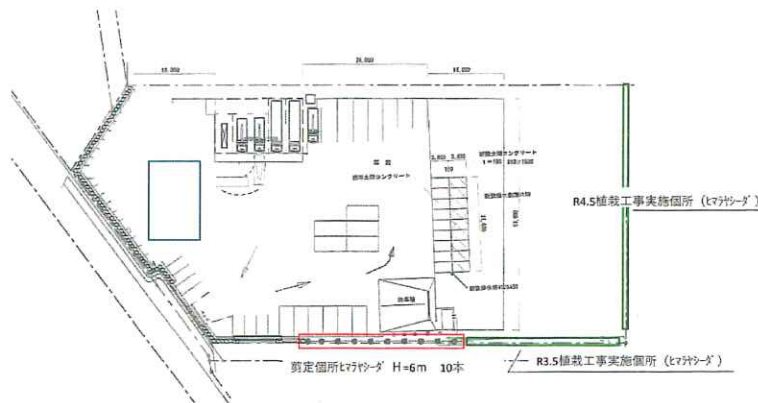
- ・令和4年10月19日(水) 町道色麻下多田川線の道路清掃及び除草作業を実施。



7) その他社内活動

- ・トラックステーション敷地内の植栽延長及び玄関前に花壇設置(会社主導)

トラックステーション剪定個所位置図



花壇



植栽延長

・令和4年4月6日(水) トラックステーション周辺の環境美化活動を実施。



・令和4年6月6日に営業本部前の町道のゴミ拾いによる環境美化活動を実施。



8) 太陽光システム発電量

設置個所(システム容量)	年間発電量
営業本部(20kw/h)	13,905kw
トラックS(18.3kw/h)	19,813kw
合計	33,718Kw

2箇所の太陽光システムで、営業本部、トラックステーションの年間使用量(29,753kw)を上回る発電をしておりました。

〔14〕【 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 】

主な環境関係法令	違反の有無	訴訟の有無
廃棄物処理法	無	無
毒劇物取締法	無	無
水質汚濁防止法	無	無
浄化槽法	無	無

令和5年4月1日に、当社チェックリスト及びクレーム受付・処理カードにて確認した結果環境関連法規への違反はございませんでした。

又、関係当局からの違反等の指摘・指示もございません。

〔15〕【 代表者による全体評価と見直し結果 】

今回も環境目標を達成できたことは非常に評価出来る内容である。世界情勢の混乱から、様々な物価上昇による価格（経費）上昇化の中で、環境活動をしながらも、省エネ等により光熱費等の経費の削減が図られたことは、会社運営にも好影響と言える。

継続的取り組んでいる活動に加え、新たに改善案が都度提案されていることは、今後の会社の発展の為にも必要なことであり、これからもより一層、活動が活発化することを期待する。

株式会社 エコサーブ
代表者 齋藤 信